印刷

（2011年7月29～31日）第33回新島杯九州ジュニア大会

日程 7月29日(金)、30日(土)、31日(日)

会場 鯛生金山・鯛生スポーツセンター
〒877-0302 大分県日田市中津江村大字合瀬1936-65
電話 0973-56-5016 FAX 0973-56-5017

出場チーム
【Aグループ】
・鹿児島オールブラックス（鹿児島県）
・春日LR（福岡県）
・鞘ケ谷RS（福岡県）
・熊本RS（熊本県）
・大分RS（大分県）
・宮崎RS（宮崎県）
・佐賀JRC（佐賀県）
・長与YR（長崎県）
【Bグループ】
・草ケ江YR（福岡県）
・長崎RS（長崎県）
・延岡都城JRS（宮崎県）
・鹿児島JRC（鹿児島県）
・グリーンベルトRS（熊本県）
・玖珠少年RS（大分県）

（注）Aグループは沖縄県が不在。規定により予選参加数が多い福岡県が2チーム出場。
Bグループは予選参加数が多い県より出場。

※試合時間は前半20分・後半20分、計40分とします。

Aグループ

●優勝：長与ヤングラガーズ（長崎県）



【監督】
福岡代表の春日と鞘ケ谷の両チームの戦いは、ノーサイドの笛が鳴るまで観る者に息詰まる興奮と感動を残してくれました。勝者である春日と対戦できる幸運をかみしめ決勝に向けて生徒と共に調整を図った。
決勝戦では前半から優勢を保ち、多くのスペースの乱れはあったが勝つことができました。九月の全国大会に向けてまだ克服しなければならない課題は残されている。
スタッフやOBの仕事を返上しての尽力、それにもまして保護者の支えは練習にも力が入った。
大会に参加するたびに思うことだが、九州の中学ラガーメンはこの大会を目指して努力している。その開催に向けて暑い中、骨身も惜しまず企画・運営に携わっとおられる関係者の方々に心からお礼申し上げます。

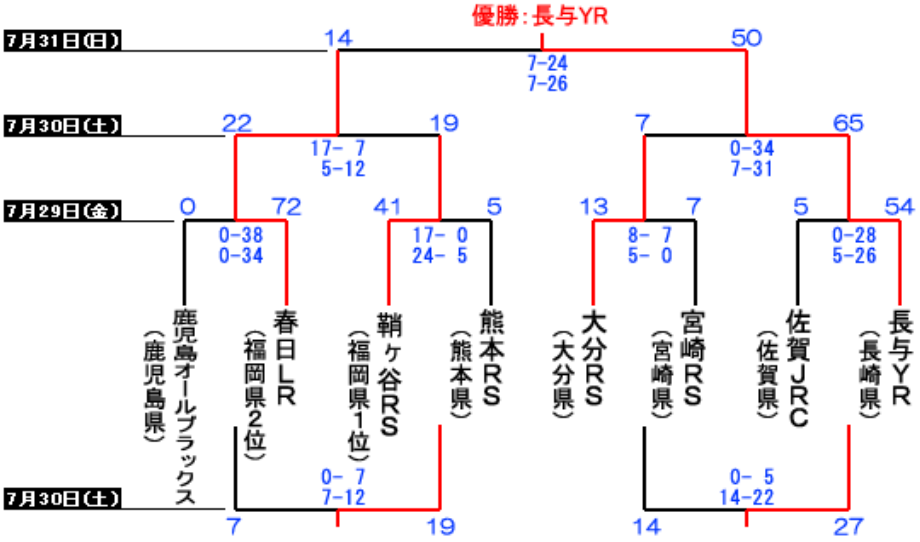
【主将】
今回の三日間は厳しい暑さでしたが、自分たちの目標である九州制覇を達成することができました。
決勝ではチーム全員で走りまわり、長与のラグビーができたので良かったと思います。
次は全国大会なので九州の代表として胸を張り、一戦一戦大事に戦ってきたいと思います。

●準優勝：春日リトルラガーズ（福岡県）



【監督】
無事大会を終えましたことを新島杯に関わる全ての方に感謝いたします。
小柄なチームが体格に勝るチームにどう戦うかが課題であったが、2試合続けては、精神力、体力、共に力尽きたようだ。
今回、全国大会出場権を得たが大きなチームと、どう戦うのか戦略をしっかり練り、小さなチームであるが大きな風を吹かせたい。

【主将】
この決勝戦を終えて応援してくれた方達や福岡県代表として相応しくない試合をしてしまったと思います。
全国大会では、九州代表として皆さんが納得する試合をして頂点に立ちたいと思います。



Bグループ

●優勝：草ヶ江ヤングラガーズクラブ（福岡県）



【監督】
本大会におきましてご尽力頂きました、九州協会及び関係者の皆様に心より感謝申し上げます。また、選手たちを最後まで温かく見守り、応援して下さった皆様に深く御礼申し上げます。草ヶ江ヤングラガーズは、3年ぶりに九州大会に出場出来、各チームとの熱戦を重ねるごとに大変勉強になり、多くの収穫を得る事が出来ました。そして、選手・指導者同士の今後の交流を高める事も出来ました。
今後も益々の九州ジュニアラグビーの発展に努力して参りたいと思います。また、Aパートの決勝戦においては、九州ジュニアラグビー最高の試合が行われ試合スケジュールの都合もあるとは思いますが、今後出来ましたら全ての選手達が決勝戦を見る事が出来ますように、ご配慮頂きます事をお願い致します。
最後に、長与ヤングラガーズ・春日リトルラガーズ両チームの皆さん、全国大会では九州ジュニアラグビーの素晴らしさを見せて下さい！

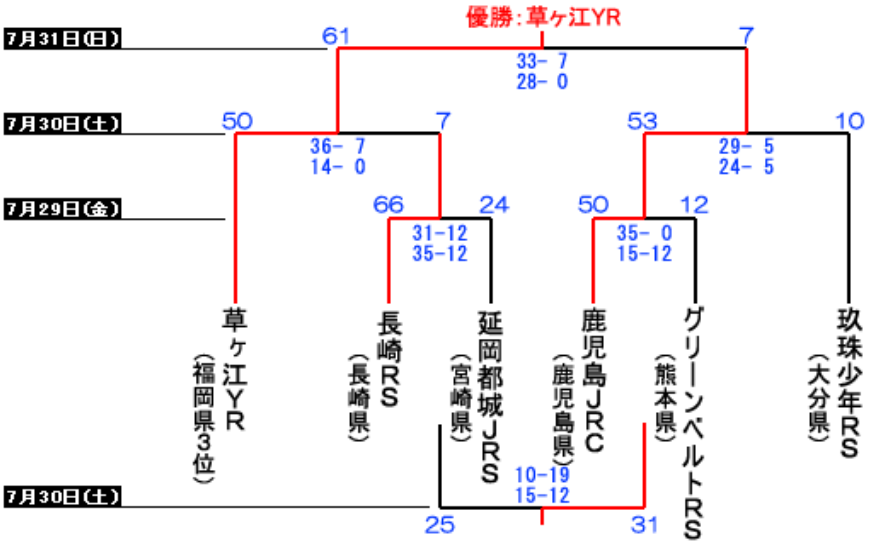
【主将】
決勝戦を終えて、仲間全員と一緒に最後まで楽しくラグビーをすることが出来ました。Bパートではありますが、優勝出来ました。また、今まで戦い合って来た相手にも感謝したいと思います。
九州代表として長与ヤングラガーズと春日リトルラガーズには、全国の舞台で頑張って欲しいと思っています。

●準優勝：鹿児島ジュニアラグビークラブ（鹿児島県）



【監督】
毎回跳ね返される福岡・長崎の壁の高さ、この両牙城を崩す、最初のチームとなるべく、また新しいシーズンへ心を新たにしております。
毎大会、素晴らしい大会運営本当に有難うございます。来年も必ず鯛生へ参りますので、よろしくお願い致します。

【主将】
今回の九州大会はBパート出場が決まり、チームが一つとなり優勝を目指して臨み、1回戦は熊本、2回戦は大分と決勝は福岡と試合をして1、2回戦は自分たちのラグビーができ勝つことが出来ました。
決勝では福岡の草ヶ江との試合で、相手のディフェンスとアタックに圧倒されました。負けはしましたが鹿児島が決勝までくるのが初めてのことで、最後の大会で記録が残せて良かったです。


優勝：草ヶ江YR
7月31日(日)
7月30日(土)
7月29日(金)
7月30日(土)
61
7
33- 7
28- 0
50
7
36- 7
14- 0
53
10
29- 5
24- 5
66
24
31-12
35-12
50
12
35- 0
15-12
10-19
15-12
25
31
草ヶ江YR（福岡県3位）
長崎RS（長崎県）
延岡都城JRS（宮崎県）
鹿児島JRC（鹿児島県）
グリーンベルトRS（熊本県）
玖珠少年RS（大分県）